

2025年度フィールドスタディ・地域活性化論実施報告(ホームページ掲載)

科目名	フィールドスタディ B	教員名	森田直美
実習先	富山県高岡市、石川県金沢市		
実習期間	11 月 4 日（火）～6 日（木）		
テーマ	産業観光の可能性に関する調査／富山県高岡市、地域の歴史と新しい文化を融合させた地域活性化調査／石川県金沢市		

目的(実習のねらい):

- 産業観光（クラフトツーリズム）の草分け的存在である富山県高岡市で、産業観光の有効性や今後への課題を調査する。
- 金沢 21 世紀美術館・兼六園の見学・調査を通して、歴史文化と現代アートの相乗効果による地域活性化の成功例を学ぶ。

実習報告:

1 日目

高岡の仏具製造卸業者である株式会社ハシモト清にて、仏具産業が直面している課題と、それに対して現在行っている試みや今後への展望についてうかがった。**(写真①ハシモト清でのヒアリング)**

2 日目

高岡市を代表する鋳物メーカー 株式会社能作の工場見学、社員による講義、学生との質疑、鋳物製作体験を行った。**(写真②能作での見学)**

3 日目

兼六園見学と、隣接する金沢 21 世紀美術館の見学、および美術館スタッフの方々からの講義、学生との質疑を行った。

3 日間を通して、現地の方々の素晴らしいホスピタリティに支えられ、さまざまな知見を得ることができた。事後学習において、参加学生から、「現地で体験・質疑ができたからこそ深い納得が得られた」「地域住民と、企業や公共施設の親密なつながりを感じることができた」という意見が寄せられ、実習の充実ぶりが察せられた。



写真①



写真②

成果：

高岡、金沢のいずれも、江戸時代以降の伝統を引き継ぐ歴史文化都市という性質を生かしつつ、そこに新しい価値を付加し、たゆむことなく発展し続けようとする意欲的な試みが多く見受けられた。現地に赴き、実際に事業に携わっている方々との交流を通して、そうした点を深く学べたことが大きな成果と言える。